

第113回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2021年9月1日（水）18:30～20:00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 14名

3 会議内容

<新規提案>

（1）プラモデルを作る会??からはじまるプラモデル

【概要】

- ・自分が作りたいプラモデルを製作するワークショップと、完成品の展示会を開催したい。
- ・1人でも作れるプラモデルだが、疑問に思ったことを仲間同士で解決したり、図書館なので本を読んで解決したりできるような機会にしたい。

【意見】

- ・参加者同士の交流は、いつも自然と生まれるのか。
→積極的な子どもがいれば生まれやすいが、参加者によりけりである。
- ・例えば、「こだわりカード」のようなものを書いてもらい、発表したり回したりすれば、交流が生まれやすいのではないか。
- ・参加者が作品を持ち寄って作るのはとても良い事だと思う。

（2）親子で一緒に 自分だけの名刺をつくろう！

【概要】

- ・前回の運営会議で「キャリアブラッシュアップ講座」を発案した際に、仕事にブランクのある方や、育児中の方はどうすればよいかというご意見があった。
→ハードルが高い可能性があることから、別途親子でも楽しめるような単発イベントを実施したい。
- ・会社の名刺ではなくオリジナルの名刺を作って、キャリアや働き方というものを家族で話すきっかけにしたい。

【意見】

- ・開催日については、学校行事と重ならない日にした方がよいのではないか。
- ・大人が考えるリアルな「仕事」と、子どもが考える「仕事」は違うと思うが、どのように伝えるのかが知りたい。

(3) ピカソプロジェクト (仮題)

【概要】

- ・芸術の秋にちなんで、小学6年生までを対象としたアートイベントを開催したい。
- ・おしぼりで拭き取れる絵具を使って絵を描いたり、季節柄落ち葉などを活用することを検討。
- ・ポスターの課題や、絵が苦手な子どもたちに、好きになってもらうきっかけとなしてほしい。
- ・できれば未就学／小学生の2部制で開催したい。

【意見】

- ・絵が苦手な子に、アートイベントに参加してもらうのは大変ではないか。
→チラシに手形の写真やイラストを使い、楽しそうに見える工夫をしてはどうか。
- 違う企画と合わせて開催し、別の事もできるようにしておけば(逃げ場を作っておくと)参加しやすいのではないか。
- ・フロアを汚さないように実施することは可能か。
→実施方法は講師の方と相談中。感染者数も増えており、焦らずにできる方法を考えたい。
- ・みんなで一つの物を作るのか。その場合、密になるのではないか。
→感染症のこともあるので、絵は1人1枚ずつ書く予定。
- ・みんなの作品を合わせたら1枚の絵になるような工夫ができれば面白いのではないか。

<イベント実施報告>

(1) 親子で楽しむ♪ハーモニカ演奏会

- ・第一部は大人向け、第二部は子ども向けの曲を演奏した。第一部のうちに退屈になってしまった子がいたと聞き、全ての年代に楽しんでもらいたいとプログラムを組んだが、難しさを感じた。
- ・子どもを対象にするなら全ての曲を親子向けにするなど、次回はまた工夫して取り組みたい。

(2) カードゲームで避難所運営を体験しよう!

- ・人数は少なかったが、積極的に取り組んでくれる参加者が多く、円滑に進んだ。
- ・イベントに合わせて、伊丹市の避難所運営マニュアルを紹介できてよかった。
- ・カードゲーム自体は、実際の市の避難所運営マニュアルとは異なる部分も多いが、ゲームとして遊びながら、避難所運営について意識してもらうことには繋がっていくと感じた。

(3) いたみアーカイブ

- ・「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷の」日本遺産認定をきっかけに、現在「伊丹酒の流通」について調べている。
- ・伊丹の酒がなぜそこまで江戸で好評を得たのかを物流の観点などから調べ、図書館を使った調べる学習コンクールへの提出を目指している。
- ・今後のテーマについては、次回のイベント以降に決めていく予定。「こんな事を調べたい」という方がいたらぜひ参加してほしい。

(4) 鉄工所の仕事

- ・参加者は6組。パソコンのトラブルにより動画がうまく再生できないということがあったため、対策を考えたい。
- ・工具を触ってもらう場面は好評。子どもたちは夢中になり、保護者からも積極的に質問があった。

(5) 漫画を語ろう！

- ・今回のテーマは「パロディ漫画」。参加者は4名で、どこまでがパロディと呼べるのかといった話で盛り上がり、あっという間にイベント終了時間になった。また、同じ漫画を持ってきた人がいたのも印象的だった。
- ・次回は9月22日（水）18：30、テーマは「実在の人物がモデル・もしくは登場する漫画」。

(6) プラモデルを作る会??なにかからはじまるプラモデル

- ・参加者は4組。企画者側は子どもがケガをしないように会場を見ているが、プラモデル製作は子どもでも集中力が続き、毎回驚いている。
- ・参加者の中に積極的な子がいると交流が生まれやすいが、毎回いるわけではないため工夫したい。

4 次回の運営会議 **2021年10月6日（水）18：30～**図書館ことば蔵1階 交流フロア